

1. 目的

- 令和7年5月より相和地区のゆめバスの運行を、バス車両からタクシー車両に変更した。
また、西大井・金子循環においては、バスによる復路便の運行も開始した。
- そのため相和地区においては、バス「東庭」－タクシー「そうわ会館」にて、乗り換えることにより、町内外への外出のための移動手段として、活用できるよう実証実験を行っている。
- ゆめバスの運行について、意見交換会を2回開催し、利用者からの意見を聴取した。

2. 概要

○第1回

日 時	令和7年8月20日（水）	午後	2時00分～
場 所	そうわ会館	2階	多目的室
参加者	8名		

○第2回

日 時	令和7年8月28日（木）	午前	10時00分～
場 所	大井町役場	2階	202会議室
参加者	6名		

3. 意見交換まとめ

- ①運行経路について
 - 信用金庫の移転など地域の状況に合わせて変更して欲しい
 - 渋沢駅方面にもいってほしい
- ②運行ダイヤについて
 - 帰路は定時定路線である必要がない
 - 予約型の運行がよい
 - 乗車時間は短くなったが、到着時間に変更になり待ち時間が増えた
 - 木曜日も運行して欲しい。便数を増やして欲しい
- ③乗降地点について
 - バス⇄タクシーの乗り換え（東庭⇄そうわ会館）が負担
 - 自由乗降（手上げ式）がよい
 - 勾配が多い場所はバス停の場所を増やして欲しい
- ④車両について
 - 乗り切れないことがある。町が車両を購入して貸与することはなどはできないか
- ⑤周知・案内について
 - イベントの告知にゆめバスの利用案内をいれてみては
 - 公共交通マップでは分からないのでおでかけプランやマイ時刻表が欲しい
- ⑥その他について
 - 乗車がコミュニケーションの場となっている
 - 高校生の通学についても考えて欲しい
 - 移動手段がなければ相和に住み続けられなくなる。途切れることなく進めて欲しい

4. 意見交換内容

①運行経路について

- バスからタクシーに車両が変わったことで乗り換えの不便さを感じる。
- 新松田駅だけでなく、地区によっては渋沢駅などにも行ける便があると生活しやすいと思う。
- 予算の関係もあるが、近隣市町の交通と連携してほしい。
- 乗り切れない人をそうわ会館に残し、自分だけが通常通り乗車できることが忍びない。
バスは篠窪まで行ってもらって、他の地区の人はタクシーに乗り換えるような対応はできないのか。曜日ごとにバスで直接行ける地区を変えてもいいかもしれない。

②乗降地点について

- 自宅付近にバス停を増設してほしい。足が悪く、平坦部と山間部では歩く負担が異なる。
- 都会のような手を挙げて乗車できる運行にはできないのか。
- 富士急のバス停があるところは全て停まるものだと思っていた。表示の仕方について考えてほしい。
- 信用金庫が移転し、バスなどを使用して移動する必要がある。ゆめバスを使用して行けるとありがたい。
- 「東庭」バス停での乗り換えが一部坂になっているため、荷物があると負担が大きい。
- 新宿や金手地区はバス停が少ないため、利用者が少ない。バス停を増やせば、利用者は増えるのではないか。

③運行ダイヤについて

- 誰もいなくてもタクシーがルート上を走っているため、もったいないと思った。
行きなら誰か乗車するが、帰りなら全ての地区を回る必要がないと思う。
- 乗る人が予約することで、運行する制度の方がいいと思う。
- 引き続き定時定路線とするか、改めて議論することが必要だと思う。
- 子どもの事も考えるのであれば、子どもが乗る便と高齢者が乗る便を分けて考えてほしい。
- ふれあい「悠々」の 때가、乗り降りも自由にでき、時間もちょうどよかった。
- 木曜日は子どものために別に車を出していると聞いた。他の曜日も同様の形の方がいいのではないか。
- 運行していない曜日があるため乗車していない可能性もあるため、運行日について調整してほしい。
- 前の運行時刻の方が都合が良かった。
- 乗車している時間は短くなったが、早く出発するため目的地に早く着くようになってしまった。暑い中、店の前で数十分開店を待つことは負担が大きい。
- 早く着くようになった分、目的地によって早くつける利点もある。
- ルートと時間によっては、帰りはタクシーを使用することが多い。
- 前の運行は乗車時間も長かったが、その中で出来たコミュニティや会話が楽しかった。
- 夏は早起きしてお出かけすることが苦ではなかったが、冬の朝早い便は高齢者にとって身体的負担が大きい。
- 1時間に1本程度走らせてもらえれば、もう少し利用者は増えるのではないか。
- 相和循環4便の運行ルートについて、すぐに再調整してほしい。

④車両について

- タクシー車両の運転手さんが、高齢者が乗車することが多いため乗り降りに配慮してくれている。
- 相和地区は人が少ないため、車両が小さくなるのは仕方ないが、もう少し大きい車両にできないのか。
- タクシー車両だと人数制限があるため、利用者が人数を超えてしまった場合の対応策も考えてほしい。
- 他の町で車を買って、運行事業者に貸与している事例がある。大井町でもできないのか。
- バス車両の運転手さんの対応が素晴らしく、乗降時の声掛けや分からない事があると親切に教えてくれる。
- バスの車両の中が、コミュニケーションの場となっていることもあり、継続して運行をしてほしい。

⑤周知・案内について

- 交通マップを作ってもらっているが、色々な便がありどの便に乗ったら目的地に到着できるのかよく分からなかった。
- 広報等を使って定期的に町民意見を聞くことも必要ではないか。
- 町で行うイベントのチラシにゆめバスが利用できる場合は、ゆめバスの利用案内を入れてみてはどうか。
- ゆめバスに町のイベントのチラシを貼ってみてはどうか。

⑥その他

- 図を見ると国や県の補助は、雀の涙ほどしかない。入力数値が誤っているのかと思った。
- 町には時代の流れを重視して、必要な事業に予算をかけてほしい。
- 小中学生だけでなく、高校生についても通学手段の確保をお願いしたい。
- 役場の人間は現場を見ていないため、現場を見てほしい。
- 高齢者は、理想の便の時に乗車できなくなっている可能性が高いので早く実現してほしい。
- 福祉的な要望も多くあったので、福祉課の方にも共有してほしい。
- バスがあることが当たり前と思わず、健康のために歩くことも必要と思いバスに乗りたいと思う。
- 家族に送迎をお願いできず、公共交通にお世話になる時のためにと考え、参加した。
- お出かけの手段がなければ、相和地区に住む人が減ってしまう。
- みんなにゆめバスをもっと利用して運行を継続してほしいと思うが、様々な事情があり乗車できない人も多くもどかしい。
- 高齢者だけの世帯も増えていくため、この交通施策を変化を続けながら途切れることなく続けてほしい。
- 買い物はネットで出きるが、病院は自分で行く必要がある。
- ゆめバスはただの移動手段ではなく、利用者の情報交換や安否確認などの重要な場所となっているため、大切に残していきたい。
- 今生活をしている人の声を聞いて、ゆめバスの事業を進めていってほしい。
- 上大井駅の利活用が進むことでゆめバスを利用した新たな利用の可能性も出てくると思う。
- 役場に来て意見を言ってくれる人は少ない。多くの人の意見を拾うための努力もしてほしい。